



1月の予定



クリスマスの本

設楽 詠美子

クリスマスの本といわれると、『ナルニア国物語』が最初に頭に浮かぶ。
 なぜ、ナルニア国物語がクリスマスかという、アメリカにいるころの友人、トビーが義理のお父さんからクリスマスに贈られた大切なものだったから。
 トビーは教会の牧師さん。教会では、毎週木曜日、地域のみんなでお楽しみ会とブッククラブを開いていた。トビーは「楽しい、ステキな本があるから、クラブに参加しないか」と私に声をかけてくれた。アメリカの生活も始まったばかり、友達ができたらいいなと軽い気持ちで参加した。しかし、何回もクラブに参加しているうちに、木曜日の夕方が待ち遠しくなっていた。

ある日の木曜日、なぜこの本を選んだのかずっと不思議に思っていたので聞いてみた。すると、トビーは、義理のお父さんからのクリスマスプレゼントであることを教えてくれた。プレゼントを大切に、みんなで読むことにしたトビーの心の優しさを感じた。

アメリカでは、親から子へ、子から親へ、そして、家族のみんなへそれぞれプレゼントを準備する。さらに、クリスマスに休みのない警察官、消防士、病院のスタッフのかたへクッキーなどを焼いて届ける。日本では、クリスマスプレゼントは子どもたちのため、もしくは恋人同士のためにあるような気がする。今年は、サンタさんとして家族のみんなに、そして隣の方々に、プレゼントを考えたりカードを贈ったりしたらステキかも？って、おもう。

ナルニア国物語[英語版:Narnia]はイギリスの文学者、Clive Staples Lewis(C.S.ルイス)により書かれ、1950~1956年に発刊された7冊の本の総称。日本語にも訳され岩波書店より瀬田 貞二(せた ていじ)氏の訳により出版されている。子どもたちが繰り広げる愛と勇気の不思議な冒険物語。わたしのおすすめの一冊。そして、クリスマスの本というと、やっぱりナルニア国物語。

(したら・えみこ / ののはな自然育児の会)

おはなし会 (午後2時から 児童室にて)

1月10日(日)

『いぬとかりゅうど』

『てんぱたん てんぱたん
~ねずみのもちつき~』

1月17日(日)

『はつゆめはひみつ』

『がたごとばんたん』



明野美術会作品展

日時: 1月17日(日) ~ 31日(日)
 午前10時 ~ 午後4時
 場所: 明野図書館 視聴覚室
 (図書館休館日を除く・最終日は3時まで)

返し忘れていませんか?

貸出期限の過ぎてしまっている資料はお早めにお返し下さい。
 また、なくしてしまった場合は明野図書館までご連絡ください。

図書館カレンダー

1月 JAN						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

【開館時間】
 午前10時から
 午後6時まで

は休みです。

2月 FEB						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2/11は祝日ですが開館いたします